

生産性向上支援訓練の活用事例

【会社概要】 半導体製品の設計・開発・生産など

訓練受講のきっかけ（経緯）

同社では方針として体系的で継続的な人材育成を計画されている。その一環で係長、中堅社員に日常の上司への提案や部下指導において論理性を向上させ、説得力を高めることを求めておられた。今回、同対象者を2グループに分けての訓練の申し出をいただいた。

【同社の訓練ニーズ】

- 日常、事業活動の中で、課題の分析と対策での論理性を重視しており、その客観性が重要であると認識している。
- 新規事業への展開も予定している。今後、顧客との商談での訴求力、社内での方針検討では、この層の論理的思考を高める事がより一層重要性を増すと考えている。

訓練の実施状況

訓練の概要

- 令和2年10月に係長、中堅社員を対象に2グループに分け各グループ1回6時間、計29名が受講。
- 主な内容
 - ①論理的思考法(ロジカルシンキング)とは
 - ・定義の理解。推論方法、思考法の応用パターンを演習を含めて理解、体感する。
 - ②企画プロセス
 - ・ニーズとシーズの抽出、設定とアイデア創出・評価での思考演習により論理的思考力を高める。
 - ③企画提案内容のプレゼン
 - ・プレゼン演習を通じて論理的思考を体験する。



受講した感想

【受講者の声】

- 現在、生産性向上に向けた合理化に取り組んでいるが、ロジカルシンキングの考え方は案件の進め方に役立つと感じました。
- 論理的に考えることにより、内容の整理ができ、説明する場合にも相手が理解できる内容になると考えます。
- お客様への説明やプレゼンの際に非常に役に立てられそうです。
- 新規企画検討と組織の方向性決定に活用できる。

【事業主の声】

- 日常の職場において、上司への報告や部下指導で意識的な面での変化が感じられるように思う。
- 職場における課題解決という面でも今回学んだ論理性や思考法の実践、発揮を今後期待したい。